

ぶんかざいまるちなび

# 文化財知ナビ

No.21

このニュースレターは、「文化財に親しむ機会に関する事業」のひとつとして、身近な文化財情報をはじめ、文化財を活用した事業などの紹介を行っています。ぜひ学校教育や生涯学習の場で広くご活用ください。

北海道には国指定の名勝が3件（12地点）あります。網走市の天都山と函館市の旧岩船氏庭園（香雪園）、そしてピリカノカ（アイヌ語で『美しい形』を意味する言葉）10地点です。

今回は、平成25年度に「ピリカノカ」に新しく追加指定となった場所を紹介し、機会があったら、ぜひ、この美しい景観を実際に見に行ってみましょう。

## 【名勝とは？】

名勝とは、景色の良いことで知られている価値の高い場所のことです。

美しい自然では、山・川・滝・火山・海浜・湖などがあり、人工的な場所である公園・庭園・橋なども含まれます。国が指定している名勝は全国に370件以上あり、国がその場所の保護活動を援助してくれます。



特別名勝 上高地（長野県）



特別名勝 富士山（山梨県・静岡県）

<文化庁ホームページより>

## ぽろしりだけ 幌尻岳（ポロシリ）

<平成25年10月17日追加指定>

幌尻岳は、日高管内の新冠町と平取町の境界にある標高2053m、日高山脈最高峰の山です。

古くからアイヌの人々にとって神々（カムイ）が住む聖なる山として知られ、山頂近くにある「七つ沼カール」（周氷河地形）



平取町貴氣別市街と幌尻岳

には、ワカメや昆布、アザラシなど、海の生物の伝承も残されています。

ウスキトウヒレン、ホソバイワベンケイなどの北海道固有の植物、ヒダカミネヤナギ、カムイピランジなどの日高山脈固有の植物が生息するほか、エゾナキウサギの棲息地ともなっています。



七つ沼カール

## オキクルミのチャシ及びムイノカ

<平成26年3月18日追加指定>

オキクルミのチャシ及びムイノカは、平取町の沙流川水系の額平川流域にある天然林に覆われた岩山や崖面で、約38万㎡の土地です。

オキクルミのチャシは、額平川左岸に続くデコボコした丘の端にある突き出た岩山のことで、

アイヌの物語に登場する神であるオキクルミの住まいとして崇められた場所と伝えられています。

ムイノカは、額平川下流にある半月状に欠けた崖面のことで、アイヌ語で「箕の形」と言います。箕とは農作業で穀物の収穫などに使う農具のことです。

アイヌの物語でオキクルミの妹（妻のことを指す）が天上に戻るときに箕を置いていったと言われています。



オキクルミのチャシ(中央のこぶ状に突き出た岩山)



ムイノカ(山の中腹の半月状の崖面)

【写真提供：平取町】

文化財ニュースレター 文化財まる知ナビ No.21

発行 平成26年4月15日 編集・連絡先 北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課

【お問い合わせはこちらへ】 電話 011-231-4111 (内線) 35-620 メール kyoiku.bunka2@pref.hokkaido.lg.jp